

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA



第175回定期演奏会

The 175th Regular Concert

名曲選シリーズ I

The Selected Famous Music Series of PMN, No.1



2004年5月28日[金]

午後7時開演(午後6時30分開場)

第一生命ホール

：主催：特定非営利活動法人日本音楽集団
NPOトリトン・アーツ・ネットワーク／第一生命ホール

：助成：平成16年度文化庁芸術団体重点支援事業

■ 日本音楽集団：<http://www.promusica.or.jp/> <http://www.wahoo-net.com/promusica/>
E-mail office@promusica.or.jp

■ トリトン・アーツ・ネットワーク：<http://www.triton-arts.net>



プログラム

一、朱輪金鈴 (1971年) 長沢勝俊作曲

NAGASAWA Katsutoshi : Shurin-kinrei

[笛] 越智成人

[尺八] I 宮田耕八郎 II 原郷隆 III 砂川憲和 IV 元永拓 V 阪口夕山 VI 渡辺淳

[三味線] I 穂積大志 II 山崎千鶴子 [琵琶] 田原順子

[箏] I 桜井智永・高橋はるな II 田村法子・彦坂恵美

[十七絃] 久本桂子・渡辺正子

[打楽器] 望月太喜之丞・若月宣宏・多田恵子

[指揮] 稲田康

二、東から (1979年) 三木稔作曲

MIKI Minoru : From the East

[二十絃箏独奏] 山田明美

三、五声のコンチェルティーノ (2002年) 福嶋頼秀作曲

FUKUSHIMA Yorihide : Concertino for 5 Japanese Instruments

[尺八] 加藤秀和 [三味線] 杵家七三 [琵琶] 首藤久美子

[二十絃箏] 吉村七重 [打楽器] 高橋明邦

休憩

四、行雲流水 (2003年、日本初演) 秋岸寛久作曲

AKIGISHI Hirohisa : Clouds Drift, Water Flows

[尺八] 米澤浩 [二十絃箏] 熊沢栄利子 [マリンバ] 白杵美智代

五、デイヴェルティメント (1969年) 佐藤敏直作曲

SATOH Toshinao : Divertimento

[笛] 西川浩平 [尺八] I 宮田耕八郎・原郷隆 II 添川浩史・渡辺淳

[三味線] I 簀田司郎 II 山崎千鶴子

[箏] I 山田明美・久本桂子 II 桜井智永・渡辺正子

[十七絃] 丸岡映美・田村法子

[打楽器] 尾崎太一・望月太喜之丞

[指揮] 田村拓男

日本音楽集団第175回定期演奏会(名曲選シリーズI)によせて

小宮多美江

作曲家を擁した演奏団体は洋楽分野においても、戦前からなかったわけではないが、これほど続いた例はむろん無い。邦楽分野では歴史の長い組織は少しも珍しくない。しかし、日本音楽集団は従来の家元制度のそれとははっきりちがう性格の団体である。そういう歴史をもつ「集団」が、今年から年1回のペースで名曲選シリーズを始めるという。



第1回に登場する作曲家のなかには、発足の年にはまだ生まれてもいなかった世代までいる。発足以来の長沢勝俊をはじめ三木稔、惜しくも早世した佐藤敏直、60年代生まれの秋岸寛久と新顔の福嶋頼秀の五人。作品は、ベテランからは比較的演奏の機会の少なかった曲が自薦され、若手からは最新作で、その多様なゆたかさを存分にたのしめそうである。

長沢勝俊の交響的幻想曲「朱輪金鈴」はNHK委嘱で1971年に作曲された当初は、かなり大きな編成であったが、その後、より引き締まった編成に改訂されている。なお、今回は箏と十七絃がダブルで演奏される。題名は古代人の大らかさに思いを寄せた作者が、古墳から出た太陽を表すといわれる朱輪(同心円の輪)や金の鈴に託して名付けたという。打楽器には古代中国の馨(けい)や四国でとれる「サヌカイト」の独特の音も使われている。70年代というと少々うわついた現代邦楽ブームを思い出すが、そのなかにあっても、確かに保たれたこの作曲家の姿勢をきいてみたい。

(ちなみに東京文化会館小ホールでは2001年から開演ベルにサヌカイトを使い、ロビーには展示もある。)

三木稔は集団にいる間から独特の活動のひろがりを見せており、野坂恵子のロンドンリサイタルのために書かれたこの「東から」(1979)も、作品それ自体にその発展的姿勢をあらわしているようだ。曲の前半でインドネシアの音楽であるガムランの響きをあらわし、後半では日本の伝統的な陰旋法に近い調絃と古典的な形式の構成を用いているという。題名の「東」は日本そのものより、ひろくアジアを東、ととらえた表現といえる。二十絃箏もいまや、当たり前前の箏のひとつとなった感があるが、その可能性を追求する過程で書かれた独奏作品として、あらためて耳を傾けてみたい。

福嶋頼秀は作曲家として入団間もないようで、定期演奏会に登場するのはこれが最初だが、すでに地方、あるいは学校公演でその作品が加えられてきたとのこと。この「五声のコンチェルティーノ」は、仲間である「集団」の団員に請われて作曲された。つまり曲の成功は大きく演奏者の肩にかかっているということだ。

第1楽章では箏、第2楽章は尺八と琵琶、第3楽章では三味線からはじまって盛大な第4楽章へとつづく構成に、はっきりと、作曲家から演奏家への期待が表されている。

秋岸寛久の名は、筆者にもはじめてではないが、今回の「行雲流水」は、別項にあるように、すでにシュライニング国際音楽祭から委嘱、初演（2003年5月29日）された作品で、今回が日本初演にあたるという。シュライニングはオーストリアの田舎町だそうだが、この音楽祭は今年ですでに4回目を迎えている。これもまた「集団」の歴史のなかのグローバルな広がりの一つといえよう。

曲は、洋楽器といっても比較的あたらしく加わったマリimbaが入っての尺八と二十絃箏との合奏だが、まさに題名の示す自然な音楽の流れを味わうことが出来そうである。

佐藤敏直をコンポーザーズ・プロジェクト・シリーズⅢで、指揮者としても親しく迎えてからまだ間がないというのに、今回は献奏となる。

「デイヴェルティメント」の初演は1969年。それは「集団」の発足から5年という早い時期であったことを思うと、この曲の意味するところは、作曲者の生涯を離れてもなお、大きいものがあるだろう。

その特長は「集団」の基本的な10人編成で書かれながら、ほとんど洋楽の室内楽のような楽曲形式をとっていることである。それが結局、多くの耳にたいへんつつきやすくとらえられた理由ではないか。3年後の再演にさいして、各パート倍加での演奏が試みられて、成功、逆に作曲者に改訂の試みを捨てさせたという事実もおもしろい。

「集団」の40年は長いとはいえ、音楽史の単位は少なくとも100年である。たとえば宮城道雄の「春の海」（1929年）から現代邦楽の歴史を数えたとしてもまだまだである。この数年、現代日本の音楽史を書き進めながら、そこに現代邦楽をいれられずにいる私も、少しも急ぐことはないのだ、じつくりと、これからも「集団」の活動を見守っていると思っている。

小宮多美江（こみやたみえ）プロフィール

1931年横浜市生まれ。1950年代より音楽批評、90年代よりクリティーク80編著、現代日本の作曲家『清瀬保二』など、同別冊3『受容史ではない近現代日本の音楽史』を著す。

「行雲流水」の日本初演によせて

シュライニング国際音楽祭「春の響き」に日本音楽集団のメンバーである米澤浩さんと熊沢栄利子さんを、1stシーズンよりゲストとして迎えている事を誇りに思います。

又、昨年我々が秋岸寛久さんに委嘱した「行雲流水」が、今回日本音楽集団の定期演奏会で日本初演を迎える事を知り、大変嬉しく思っております。

コンサートの盛会を祈ると共に、オーストリアと日本の音楽の掛け橋となる我々の友情を心から嬉しく思います。

シュライニング国際音楽祭「春の響き」

芸術監督 エドワード&ヨハネス・クトロヴァッツ



[作曲家プロフィール]

長沢勝俊 | ながさわ かつとし

1923年東京に生れる。清瀬保二に作曲を師事。64年の日本音楽集団創立に参加。49年以来人形劇団「ブーク」の音楽を監修。86年歌舞伎・市川猿之助「ヤマトタケル」などの音楽を作曲。90年紫綬褒章を受章。6回の日本音楽集団の海外公演に参加。日本大学芸術学部修了。日本音楽集団の名誉代表。「子供のための組曲」「組曲・人形風土記」「大津絵幻想」「萌春」「錦木によせて」他邦楽器のための作品多数。

三木稔 | みき みのる

1930年徳島市生れ。東京芸大作曲科卒。1964年日本音楽集団・86年歌座・90年結アンサンブル・93年オーケストラアジア・97年オーラJをそれぞれ創立、今までにない創造活動を国際的に展開中。《春琴抄》から《源氏物語》に至るオペラ七連作や、《鳳凰三連》などの管絃楽曲、《マリンバ・スピリチュアル》などの室内楽曲・独奏曲の多くは海外からの委嘱で作曲され、国際的なレパートリーになっている。歌曲・合唱曲・邦楽器作品多数。映画音楽《愛のコリーダ》もよく知られている。

福嶋頼秀 | ふくしま よりひで

1967年前橋市生まれ。慶應大学法学部卒。東京フィル、日本フィル、東京都響、オーケストラ・アンサンブル金沢、フランチ・リスト室内管(ルーマニア)等からの編曲依頼多数。現田茂夫、足立さつき、錦織健、佐野成宏、古川展生の各氏等が演奏。2003年チョン・ミョンファン監修・指揮のコンサートの企画/編曲を担当。土曜ワイド劇場や月曜ドラマスペシャルの劇伴音楽、ニュースステーションのジングル等の音楽も担当。

秋岸寛久 | あきぎし ひろひさ

1962年横浜市生まれ。東京音楽大学卒。作曲を助川敏弥、浦田健次郎、三木稔の各氏に師事。卒業時の作品「三味線協奏曲」は仙台フィル及び日本フィルの定期演奏会、アメリカ公演等で演奏される。日本フィル九州公演20周年委嘱作品「交響連詩〈九州〉」(和田薫氏と連作)、横浜国大グリーククラブの創部50周年委嘱作品「樹木頌」、NHK邦楽技能者育成会45期委嘱作品「往来」などを手掛ける。

佐藤敏直 | さとう としなお

1936～2002年。山形県鶴岡市に生れる。1955年慶應義塾大学工学部電気工学科に入学。電子工学を専攻する。在学中、清瀬保二に師事し、音楽を学ぶ。以来作曲グループ「耕人会」、日本現代音楽協会を中心に作曲活動を行った。

主な作品:管弦三態、管弦楽のための「哀歌」、二丁のヴァイオリンのための「天空に寄せる歌謡」、無伴奏チェロのための「バンドリの唄」混声合唱組曲「はじめての町」、日本の楽器のための作品には、独奏尺八のための「片足鳥居の映像」、邦楽器のための「青のモチーフによるコンポジション」、「糸のためのコンチェルト」など。

日本音楽集団40周年記念作曲コンクール

Pro Musica Nipponia the 40th anniversary composition competition

日本音楽集団では、創立40周年を記念した作曲コンクールを行うこととし、作曲賞を創設します。募集要項の詳細については、チラシ・HPをご覧ください。事務局へお問い合わせください。

- 応募作品 日本の伝統楽器のための合奏作品。楽器編成は日本音楽集団の楽器から選択し、4人から10人程度までとする。
- 審査員 西村朗・日本音楽集団
- 賞・賞金 第1位 50万円 第2位 20万円
- 応募締切り 2004年8月31日(当日消印有効)

2003年

- 11月19日(水) 佐倉市中学校音楽鑑賞会 佐倉市民音楽ホール
11月23日(日) 長岡市民音楽祭に出演(華やぎ、冬の日他) 長岡リリックホール
11月24日(月) 四季の響きよみがえる日本の音(秋の日他) 愛知県芸術劇場コンサートホール
11月26日(水) 常葉学園短期大学芸術鑑賞会(源氏音楽物語・巨火他) 静岡市民文化会館中ホール
12月 1日(月)～3日(水) 丸亀市小中学校邦楽鑑賞教室「邦楽アンサンブル」 丸亀市民会館
12月 6日(土) 第18回くにたちファミリーコンサート(ごんぎつね他) くにたち市民芸術小ホール
12月 7日(日) スーパー邦楽ライブV「大津絵幻想&巨火」 福岡博多座
12月17日(水) 共立女子中学校音楽鑑賞会 共立女子学園講堂

2004年

- 1月17日(土) から3月27日(土) までの土曜日、計10回。
渋谷区伝統和楽器こども教室「三味線にチャレンジ!」開催 渋谷区立加計塚小学校
- 1月23日(金) 第174回定期演奏会
～クリティックス・プロジェクト・シリーズⅡ 石田一志「新春・産霊祭」～ 津田ホール
- 1月25日(日) 盛岡公演「和の響き」 盛岡市民文化ホール
2月 6日(金) 資生堂コンサート 銀座資生堂
5月12日(水) 洗足学園80周年記念事業公演(急の曲、ラプソディ/外山雄三他) 洗足学園前田ホール
5月12日(水) 桐蔭学園音楽鑑賞会 桐蔭メモリアルホール
5月28日(金) 第175回定期演奏会～名曲選シリーズⅠ～ 第一生命ホール
6月18日(金) アウトリーチ・コンサート 新富町シルヴァーウィング
6月23日(水) アウトリーチ・コンサート 中央区立阪本小学校
7月 6日(火) 不二聖心女子学園音楽鑑賞会 長泉町文化センター
7月 7日(水)～9日(金) 北九州巡回学校公演 響ホール、北九州芸術劇場大ホール、ウエルとばた
7月 8日(木) 西武学園文理高校音楽鑑賞会 狭山市民会館
7月16日(金) アウトリーチ・コンサート 中央区立佃島小学校
7月27日(火) 敦賀市小学校音楽鑑賞会 敦賀市民文化センター
7月31日(土) パシフィック・ミュージック・フェスティバル
～PMF2004公演(四季「ダンス・コン」、大津絵幻想他) 札幌芸術の森アートホール
- 8月25日(水) 四日市市子ども芸術劇場(ごんぎつね他) 四日市市文化会館
- 9月28日(火) 第176回定期演奏会
～コンポーザーズ・プロジェクト・シリーズⅥ 間宮芳生氏からのメッセージ 津田ホール
- 10月 8日(金) 大垣市小学校音楽鑑賞会 大垣市文化会館
10月20日(水) 佐倉市中学校巡回音楽会
10月29日(金) 静岡県立西高校芸術鑑賞会 静岡市文化会館
11月 9日(火) 和洋九段女子中・高校音楽鑑賞会 講堂
11月14日(日) 八日市公演 八日市文化芸術会館
11月15日(月) 所沢秋草学園音楽鑑賞会 所沢市民文化センターミュージズ
11月26日(金) 第177回定期演奏会～創立40周年記念コンサート 第一生命ホール

特定非営利活動法人日本音楽集団

【正会員】(団員)(楽器別・五十音順)

笛
越智成人
西川浩平

笙
野田説子
真鍋尚之

箏
稲葉明德
西原祐二

尺八
加藤秀和
阪口夕山
砂川憲和
添川浩史
竹井誠隆
原崎重康(笛)
藤川寿也
水三橋貴風
宮田耕八朗
元永拓
米澤浩
渡辺淳

胡弓
畦地啓司(作曲)
多々良香保里

三味線
杵家七三子
工藤哲子
坂口美香子
田中悠美子
穂積大志郎
穂積大志郎
守啓伊子
山崎千鶴子

琵琶
首藤久美子
田原順子

箏
大島菜穂子
久東寿子
熊沢栄利子
桜井智永美
佐藤里美
島崎春美
城ヶ崎美保
高橋はるな
田村法子
早川智子
彦坂恵美子
久本桂子
前川美保子
松岡知代美
丸岡映礼子
三宮越圭子
山田明由紀
山田由七重
吉渡正子

打楽器
白杵美智代
尾崎太一郎
仙堂新太郎
高橋明邦(指揮)
多田恵子
望月太喜之丞
盧慶順
若月宣宏
渡邊理恵

指揮
稲田康男
田村拓男
田村文生

作曲
秋岸寛久
川崎絵都夫
長沢勝俊秀
福嶋頼秀

楽器・舞台
中島隆

名誉代表
長沢勝俊

代表
田村拓男

副代表
尾崎太一

運営委員
秋岸寛久
越智成人
添川浩史
西川浩平
箕田司郎
望月太喜之丞
米澤浩

監事
宮田耕八朗
今井隆夫

事務局
霜島素子
益井紀恵

【賛助会員】

法人 (株)全音楽譜出版社
(株)宮本卯之助商店
NPOトリトン・アーツ・ネットワーク

個人
青柳堯 藤山雅弘
新井克輔 中島靖子
飯塚絹子 浜田靖子
飯吉正山 古川羽衣
伊藤美恵子 本田実
今村厚子 水野正徳
今村文彦 森玲子
江西富枝 渡辺京子
大関富枝 渡辺邦子
太田颯衣 渡辺ハル子
川壁正則 渡辺治子
岸彰和子 Andrew MacGregor
小泉陽子
後藤昭彦
白藤和厚
杉田繁雄
関原たま
手塚愛子

【協会員】(五十音順)

名誉団員
坂井敏子
白根きぬ子
野坂恵子
宮本幸子

団友
青木誠
秋浜悟史
荒谷俊治
伊藤惣一
稲垣隆史
大窪悦子
川崎祥悦
菊地悌子
楠知子
鞍掛昭二
鯉沼廣一
坂田進祐
芝水靖
清浦義和
杉浦弘和

砂崎知子
芹沢英雄
高野文子
田嶋恵美子
田嶋直士
田中利光
鶴野和子
藤舎呂悦
藤舎呂船
仲保申喜
半田淳子
廣瀬量平
福田輝久
鳳声晴由
星旭
細谷一郎
増田陸美
望月太佐衛
望月太八
元橋康男
矢崎明子
柳家小三治

横山勝也
吉沢昌江
デイヴィッド・ローブ
デイヴィッド・ヒューズ
ヘンリー・バーネット
ラニー・シェルダン
王燕樵
張曉輝

地方支部
道東支部 谷藤 彌
道東支部 竹馬 亘
水戸支部 斎藤 幸山
山梨支部 郷 山晃
長野支部 佐藤 幸宇山
新潟支部 飯吉 正山
愛媛支部 山田 孝子
愛媛支部 渡辺 治子
福岡支部 安武 由香理
熊本支部 古川 安春

2004年4月現在

賛助会員へのお誘い

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動を目指したく、ご協力お願い申し上げます。募集の詳細はチラシをご参照ください。

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302 TEL03-3378-4741 FAX03-3376-2033
http://www.promusica.or.jp/ E-Mail office@promusica.or.jp



アイ・エム・エス

●楽器リース ●保管 ●移動 ●ステージ・スタッフ派遣
〒167-0043 東京都杉並区上荻2-3-4 ゆうでんビル
PHONE.03-3397-2292
FAX. 03-3397-7728

箏

箏を愛するすべての人の繊細な感情を忠実に音に表現するために、
楽器の本質を追究した箏

十七絃箏

二十絃箏

二十五絃箏



時を超え心に残る音づくり

有限会社 琴光堂

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-19-15 TEL03(3792) 8481 FAX03(3792) 843
E-mail : kinkodo@v004 vaio ne jp